

入札説明書

平成24年度国立水俣病総合研究センター

実験動物飼育管理業務

国立水俣病総合研究センター

はじめに

平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務に係る入札等については、会計法(昭和22年法律第35号)、予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号)、契約事務取扱規則(昭和37年大蔵省令第52号)、その他の関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 契約担当官等

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 佐藤 克子

2 調達内容

(1) 件名 平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務

(2) 特質等 別添仕様書による他、入札説明会にて詳細を説明する。

(3) 業務期間 平成24年4月1日から平成25年3月31日

(4) 業務区域 熊本県水俣市浜4058-18

国立水俣病総合研究センター

(5) 入札方法

落札者の決定は、最低価格落札方式をもって行うので、

イ 入札者は、業務に係る経費のほか、一切の諸経費を含め契約金額を見積もるものとする。

ロ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の5パーセントに相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数がある時は、その端数金額を切り捨てた金額とする。)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の105分の100に相当する金額を記載した入札書を提出しなければならない。

(6) 入札保証金及び契約保証金 免除

3 競争参加資格

(1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。

(3) 工事請負契約等に係る指名停止等措置要領について(平成13年環境会第9号)に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。

(4) 平成22・23・24年度環境省競争参加資格(全省庁統一資格)「役務の提供等」の中で営業品目「建物管理等各種保守管理」又は、「その他」において、開札

時まで「A」、「B」又は「C」級に格付けされ、九州・沖縄地域の競争参加資格を有する者であること。

(5) 入札説明書の交付を受け、入札説明会に参加した者であること。

(6) S P F 動物実験施設を含む動物実験施設において実験動物の飼育管理を実施した実績を有する者であること。

4 契約条項を示す場所等

(1) 契約条項を示す場所

〒867-0008 熊本県水俣市浜4058-18

国立水俣病総合研究センター総務課経理係 北田 貴久

電話 0966-63-3111 F A X 0966-61-1145

(2) 入札説明会の日時及び場所

日時 平成24年2月13日(月) 14時00分から

場所 国立水俣病総合研究センター内会議室

5 競争執行の日時、場所等

(1) 入札・開札の日時及び場所

日時 平成24年2月24日(金) 16時00分

場所 国立水俣病総合研究センター内会議室

熊本県水俣市浜4058-18

(2) 入札書の提出方法

ア. 入札書は、(1)の日時まで電子入札システムにより提出するものとする。ただし、書面により入札書を提出することを希望する場合は、平成24年2月17日(金)12時までに、環境省入札心得に定める様式2による書面を提出すること。

イ. 書面により入札書を提出する場合は、(1)の日時及び場所に、環境省入札心得に定める様式1による入札書を持参すること。電話、F A X、郵送等による提出は認めない。なお、入札書の日付は、入札日を記入すること。

ウ. 入札者は、その提出した入札書の引換、変更又は取消しをすることができない。

(3) 入札の無効

本入札説明書に示した競争参加資格のない者又は入札条件に違反した者の提出した入札書は無効とする。

6 落札者の決定方法

(1) 有効な入札書を提出した入札者であって、当該入札者の入札価格が予算決算及び会計令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であり、かつ、最低価格をもって入札を行った者を落札者とする。

(2) 最低価格により落札者となった場合でも、落札者となるべき者の入札価格によっ

ては、当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした他の者のうち、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とすることがある。

7 入札に関する質問の受付

(1) この入札説明書、仕様書等に関する質問がある場合は、次に従い書面（様式は任意）により提出すること。

イ 提出期限 平成24年2月14日（火）12時まで
（持参の場合は12時から13時を除く）

ロ 提出場所 4（1）の場所

ハ 提出方法 持参又はFAXによって提出すること。

(2) (1)の質問に対する回答は、平成24年2月15日（水）17時までにFAXにより行う。

8 競争参加資格確認関係書類

(1) 競争参加資格確認関係書類は、別添-1に掲げるとおりとする。

(2) 競争参加資格確認関係書類の作成に要する費用は、提出者の負担とする。

(3) 支出負担行為担当官は、提出された競争参加資格確認関係書類を競争参加資格の確認以外に提出者に無断で使用することはない。

(4) 受領した書類等は返却しない。

(5) 入札者は、提出した競争参加資格確認関係書類の引換え、一部もしくは全部差し替え及び再提出、変更又は取消しをすることができない。

(6) 競争参加資格確認関係書類の受領期限は、平成24年2月17日（金）12時とする。

(7) 開札日の前日までの間において、支出負担行為担当官から競争参加資格確認等に関し説明を求められた場合には、これに応じなければならない。

(8) 入札参加資格審査結果の回答

平成24年2月20日（月）17時まで

なお、審査結果通知書の発出にあたっては、原本の郵送に先行して指定された宛先にFAXによる事前送信を行う。

9 その他

(1) 入札結果の公表

落札者が決定したときは、入札結果は、落札者を含め入札者全員の商号又は名称及び入札価格について、開札場において発表する。

(2) 電子入札システムの操作及び障害発生時の問い合わせ先

環境省電子入札システムホームページアドレス <http://www.e-procurement.env.go.jp/>
ヘルプデスク 03-5348-4006

ただし、入札の締め切り時間が切迫している等、緊急を要する場合には、前記4
(1)の場所に連絡すること。

(3) 契約締結日までに平成24年度の予算(暫定予算を含む。)が成立しなかった
場合は、契約締結日は予算が成立した日以降とする。

また、暫定予算になった場合、全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみ
の契約とする場合がある。

○様式等

別紙 環境省入札心得

別添1 競争参加資格確認関係書類

別添2 契約書(案)

別添3 仕様書

(別紙)

環境省入札心得 (工事以外)

1. 趣旨

環境省の所掌する契約（工事に係るものを除く。）に係る一般競争又は指名競争（以下「競争」という。）を行う場合において、入札者が知り、かつ遵守しなければならない事項は、法令に定めるものの他、この心得に定めるものとする。

2. 入札説明書等

- (1) 入札者は、入札説明書及びこれに添付される仕様書、契約書案、その他の関係資料を熟読のうえ入札しなければならない。
- (2) 入札者は、前項の書類について疑義があるときは、関係職員に説明を求めることができる。
- (3) 入札者は、入札後、(1)の書類についての不明を理由として異議を申し立てることができない。

3. 入札保証金及び契約保証金

環境省競争参加資格（全省庁統一資格）を保有する者の入札保証金及び契約保証金は、全額免除する。

4. 入札書の書式等

入札者は、様式1による入札書を提出しなければならない。ただし、電子入札システムにより入札書を提出する場合は、同システムに定めるところによるものとする。

なお、入札説明書において「電子入札システムにより入札書を提出すること」と指定されている入札において、様式1による入札書の提出を希望する場合は、様式2による書面を作成し、入札説明書で指定された日時までに提出しなければならない。

5. 入札金額の記載

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の5パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額とする。）をもって落札価格とするので、入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

6. 入札書の提出

- (1) 書面による入札書は、封筒に入れ封印し、かつその封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）、宛名（支出負担行為担当官 国立水俣病総合研究センター総務課長 殿と記載）及び「平成24年2月24日開札 [平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務] の入札書在中」と朱書きして、入札日

時まで提出すること。また、競争参加資格を証明する書類を入札説明書で指定する日時までに提出すること。

- (2) 電子入札システムにより入札する場合は、同システムに定める手続に従い、入札日時までに入札書を提出すること。通信状況により提出期限内に電子入札システムに入札書が到着しない場合があるので、時間的余裕を持って行うこと。また、競争参加資格を証明する書類をスキャナ等により電子データ化したものを、電子入札システムの手順に応じて、入札説明書で指定する日時までに提出すること。

7. 代理人による入札及び開札の立会い

代理人により入札を行い又は開札に立ち会う場合は、代理人は、様式3による委任状を持参しなければならない。また、代理人が電子入札システムにより入札する場合には、同システムに定める委任の手続きを終了しておかなければならない。

8. 代理人の制限

入札者又はその代理人は、当該入札に係る他の入札者の代理人を兼ねることができない。

9. 入札の無効

次の各項目の一に該当する入札は、無効とする。

- ① 競争に参加する資格を有しない者による入札
- ② 指名競争入札において、指名通知を受けていない者による入札
- ③ 委任状を持参しない又は電子入札システムに定める委任の手続きを終了していない代理人による入札
- ④ 書面による入札において記名押印（外国人又は外国法人にあっては、本人又は代表者の署名をもって代えることができる。）を欠く入札
- ⑤ 金額を訂正した入札
- ⑥ 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- ⑦ 明らかに連合によると認められる入札
- ⑧ 同一事項の入札について他人の代理人を兼ね又は2者以上の代理をした者の入札
- ⑨ 入札者に求められる義務を満たすことを証明する必要がある入札にあっては、証明書が契約担当官等の審査の結果採用されなかった入札
- ⑩ 入札書の提出期限までに到着しない入札
- ⑪ その他入札に関する条件に違反した入札

10. 入札の延期等

入札参加者が相連合し又は不穩の行動をする等の場合であって、入札を公正に執行することができない状態にあると認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し若しくはとりやめることがある。

11. 開札の方法

- (1) 開札は、入札者又は代理人を立ち合わせて行うものとする。ただし、入札者又は代理人の立会いがない場合は、入札執行事務に関係のない職員を立ち合わせて行うことができる。
- (2) 電子入札システムにより入札書を提出した場合には、入札者又は代理人は、開札時刻に端末の前で待機しなければならない。
- (3) 入札者又は代理人は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は委任状を提示しなければならない。
- (4) 入札者又は代理人は、開札時刻後においては開札場に入場することはできない。
- (5) 入札者又は代理人は、契約担当官等が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。
- (6) 開札をした場合において、予定価格の制限内の価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行うものとする。電子入札システムにおいては、再入札を行う時刻までに再度の入札を行うものとする。なお、開札の際に、入札者又は代理人が立ち会わず又は電子入札システムの端末の前で待機しなかった場合は、再度入札を辞退したものとみなす。

12. 落札者となるべき者が2者以上ある場合の落札者の決定方法

当該入札の落札者の決定方法によって落札者となるべき者が2者以上あるときは、直ちに当該者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。なお、入札者又は代理人が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

13. 落札決定の取消し

落札決定後であっても、入札に関して連合その他の事由により正当な入札でないことが判明したときは、落札決定を取消することができる。

14. 契約書の提出等

- (1) 落札者は、契約担当官等から交付された契約書に記名押印（外国人又は外国法人が落札者である場合には、本人又は代表者が署名することをもって代えることができる。）し、落札決定の日から10日以内（期終了の日が行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する日に当たるときはこれを算入しない。）に契約担当官等に提出しなければならない。ただし、契約担当官等が必要と認めた場合は、この期間を延長することができる。
- (2) 落札者が前項に規定する期間内に契約書を提出しないときは、落札は、その効力を失う。

15. 契約手続において使用する言語及び通貨

契約手続において使用する言語は日本語とし、通貨は日本国通貨に限る。

入 札 書

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

印

(復) 代理人

印

注) 代理人又は復代理人が入札書を持参して入札
する場合に、(復) 代理人の記名押印が必要。
このとき、代表印は不要 (委任状には必要)。

下記のとおり入札します。

記

- 1 入札件名 : 平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務
- 2 入札金額 : 金額 _____ 円
- 3 契約条件 : 契約書及び仕様書その他一切貴省の指示のとおりとする。

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

印

電子入札案件の紙入札方式での参加について

下記入札案件について、電子入札システムを利用して入札に参加できないので、紙入札方式での参加をいたします。

記

1. 入札件名：平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務
2. 電子入札システムでの参加ができない理由
(記入例)・電子入札システムで参加する手続が完了していないため

委 任 状

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所
(委任者) 会 社 名
代 表 者 氏 名

印

代 理 人 住 所
(受任者) 所 属 (役 職 名)
氏 名

印

当社

を代理人と定め下記権限を委任します。

記

(委任事項)

- 1 平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務
- 2 1の事項にかかる復代理人を選任すること。

委 任 状

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

代理人住所
(委任者) 所属(役職名)
氏 名 印

復代理人住所
(受任者) 所属(役職名)
氏 名 印

当社 を復代理人と定め下記権限を委任します。

記

(委任事項)

平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務の入札に関する一切の
件

別添-1

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

所在地

商号又は名称

代表者氏名

印

平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務に関する
競争参加資格確認書類の提出について

標記の件につきまして、次のとおり提出します。

- ① 環境省大臣官房会計課長から通知された等級決定通知書(全省庁統一資格)の写
- ② 「3. 競争参加資格」(6)に規定する契約実績を満たすことを記した書類(契約書及び仕様書の写し)

(担当者)

所属部署：

氏名：

TEL/FAX：

E-mail：

契 約 書

支出負担行為担当官 国立水俣病総合研究センター総務課長 佐藤 克子（以下「甲」という。）と_____以下「乙」という。）とは、「平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務」（以下「業務」という。）について、次の条項により契約を締結する。

（契約の目的）

第1条 乙は、別添の仕様書に基づき業務を行うものとする。

（契約金額）

第2条 契約金額は金 円(内消費税及び地方消費税の額 円)とする。

2 前項の消費税及び地方消費税の額は、消費税法（昭和63年法律第108号）第28条第1項及び第29条並びに地方税法（昭和25年法律第226号）第72条の8 2及び第72条の83の規定に基づき、契約金額に105分の5を乗じて得た額である。

（履行期間及び履行場所）

第3条 履行期間及び契約場所は次のとおりとする。

履行期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

履行場所 国立水俣病総合研究センター
熊本県水俣市浜4058-18

（契約保証金）

第4条 甲は、この契約の保証金を免除するものとする。

（再委任等の禁止）

第5条 乙は、業務の処理を他人に委託し、又は請け負わせてはならない。但し、書面により甲の承諾を得たときはこの限りではない。

（監督）

第6条 乙は、甲の指示監督により業務を行うものとする。

2 業務の遂行にあたって疑義又は不明の点が生じたときは、甲の指示に従うものとする。

(検査及び引渡し)

第7条 乙は、毎月の業務を完了したときは業務終了報告書を作成し、その旨を書面により甲に通知しなければならない。

2 甲は、前項の通知を受けたときは、その日から10日以内に検査を行い、検査に合格した後、乙が成果物の引渡しを申出たときは、直ちにその引渡しを受けなければならない。

3 乙は、前項の検査に合格しないときは直ちに修補して甲の検査を受けなければならない。この場合においては、前項の期間は甲が乙から修補を終了した旨の通知を受けた日から起算する。

(契約金額の支払い)

第8条 乙は、毎月の業務完了後、前条第2項の検査に合格したときは、実施した業務に従い別表により算定した金額を翌月速やかに請求するものとする。

2 甲は、前項の規定による適法な請求を受けたときは、その日から起算して30日以内(以下「約定期間」という。)に契約金額を支払わなければならない。

(支払遅延利息)

第9条 甲は、第8条の約定期間内に契約金額を乙に支払わない場合は、約定期間満了の日の翌日から支払いをする日までの日数に応じ、契約金額に対し年3.1%の利率を乗じて計算した金額を遅延利息として乙に支払わなければならない。

(仕様書等の変更)

第10条 甲は、必要があると認めるときは、仕様書等の変更内容を乙に通知して、仕様書等を変更することができる。この場合において、甲は、必要があると認められるときは履行期間若しくは契約金額を変更し、又は乙に損害を及ぼしたときは必要な費用を負担しなければならない。

(業務の中止)

第11条 天災地変その他止むを得ない事由により、業務の遂行が困難となったときは、乙は、甲と協議の上契約の解除を行うものとする。

2 前項の規定により契約を解除するときは、第7条から9条までの規定に準じ精算する。

(契約の解除)

第12条 甲は、次の各号の一に該当するときは、この契約の全部又は一部を解除することができる。

一 乙の責に帰する事由により、乙がこの契約の全部又は一部を履行する見込みがな

いと認められるとき。

二 乙が第5条、第15条又は第16条の規定に違反したとき。

三 乙又はその使用人が甲の行う監督及び検査に際し不正行為を行い、又は監督官等の職務の執行を妨げたとき。

四 履行期限内に業務結果の提出がなかったとき。

(違約金)

第13条 甲が前条の規定により契約の全部又は一部を解除した場合は、乙は契約金額の100分の10に相当する金額を甲に支払わなければならない。

(かし担保)

第14条 甲は、第7条の規定により引渡しを受けた後1年以内に隠れたかしを発見したときは、直ちに期限を指定して当該かしを修補させることができるものとする。

(秘密の保全)

第15条 乙は、この契約の履行に際し知得した相手方の秘密を第三者に洩らし又は利用してはならない。

(債権譲渡の禁止)

第16条 乙は、この契約によって生じる権利又は義務の全部若しくは一部を甲の承諾を得た場合を除き第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、信用保証協会及び中小企業信用保険法施行令(昭和25年政令第350号)第1条の2に規定する金融機関に対して売掛債権を譲渡する場合にあっては、この限りではない。

2 前項ただし書に基づいて売掛債権の譲渡を行った場合、甲の対価の支払による弁済の効力は、甲が、支出に関する事務を電子情報処理組織を使用して処理する場合における予算決算及び会計令等の臨時特例に関する政令(昭和55年政令第22号)第5条第1項に基づき、センター支出官に対して支出の決定の通知を行った時点で生ずるものとする。

(紛争又は疑義の解決方法)

第17条 この契約について、甲乙間に紛争又は疑義を生じた場合には、必要に応じて甲乙協議して解決するものとする。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印のうえ、各自1通を保有する。

平成24年 月 日

(甲) 熊本県水俣市浜4058-18
支出負担行為担当官
国立水俣病総合研究センター
総務課長 佐藤 克子

(乙) _____

仕 様 書

1. 件 名 平成24年度国立水俣病総合研究センター実験動物飼育管理業務
2. 業務場所 国立水俣病総合研究センター
3. 目 的 国立水俣病総合研究センターが、適切な研究業務を行うため動物実験施設を常に最良な状態で、しかも経済的に維持し設備及び飼育実験動物に異常事態が発生しないよう、万全の注意をもって管理するとともに、万一異常事態発生の場合は、速やかに最善策をとり事後処理に努めること。
4. 業務内容 別添のとおり。
5. 作業員の派遣
 - 1) 実施業者は、前項に定める業務を遂行する為、契約期間中従業員を仕様書に規定する業務を適切に履行するために必要な人員数（3名程度を想定）を常時国立水俣病総合研究センターに配置すること。配置人員の詳細は5)のとおり。
 - 2) 配置する従業員には熟練者を選定すること。熟練者とは、実験動物技術者二級以上の資格を有し、実務経験5年以上の者とする。
 - 3) 従業員の配置に当たっては当該従業員の履歴書をあらかじめ国立水俣病総合研究センターに提出し承認を得ること。
 - 4) 実施業者は、従業員の身元・風紀・衛生及び作業規律並びに労働基準法等に基づく身分保障に関し、一切の責任を負うものとする。
 - 5) 従業員の作業時間及び人員
 - イ. 作業を要する日及び時間
 - (イ) 平日及び12月29日から1月3日のうち3日間…作業員3名程度
午前8：30～12：00
午後1：00～5：00
 - (ロ) 土曜日…作業員2名程度
午前8：30～12：00
 - (ハ) 日祭日…作業員1名程度
午前8：30～12：00
 - ロ. 特例作業日等
国立水俣病総合研究センターが必要とする場合は、上記イに定める作業時間の延長を実施するものとする。
6. 監督職員及び検査職員
作業の監督職員・検査職員は次のとおりとする。
監督職員（官職指定）国立水俣病総合研究センター総務課長
検査職員（官職指定）国立水俣病総合研究センター経理係長
7. その他
 - 1) 実施業者及び配置する従業員は、業務上知り得た秘密事項を他に洩らしてはならない。
 - 2) 業務の実施に必要な機器及び資材については、動物倫理安全等委員会委員長と協議のうえ必要と認められる場合においては、当センターがこれを提供するものとする。
 - 3) この仕様書に定めのない事項は、国立水俣病総合研究センター職員及び検査職員と緊密な連絡をとり、協議のうえ定めるものとする。

業務の内容

1. CONVENTIONAL 動物及び中大動物

1. 実験動物の日常飼育管理作業（毎日）

- 1) 飼育室内温度・湿度等の確認記録
- 2) 給餌・給水（自動給水槽の定期給水及びノズルの作業点検を含む。）
- 3) 飼育動物の異常のチェック
- 4) ケージ・床敷の交換
- 5) 汚物の区分け・廃棄・運搬
- 6) 給水ビン・ケージ・ケージラック等の交換・洗浄・乾燥・整理及び所定の場所への搬入
- 7) 飼育器材の滅菌（必要に応じて飼料・水・フィルターキャップ・床敷等の滅菌も行う。）・消毒
- 8) 飼育室内の清掃作業
- 9) 実験室・廊下・更衣室・便所・シャワー室・管理室・倉庫など動物飼育関連区域の清掃

2. 動物飼育関連区域の定期清掃・消毒（週1回）

- 1) 消毒薬による動物飼育室床壁の消毒
- 2) 動物の死体の施設外への搬出
- 3) フィルター交換・洗浄
- 4) 実験室・廊下・更衣室・便所・シャワー室・管理室・倉庫など動物飼育関連区域の消毒

3. 実験動物の導入及び検収作業の補助並びに実験の補助（適宜）

- 1) 実験動物の導入受け入れの準備
- 2) 導入動物の規格確認（週齢・性別・匹数の確認と記録）・外観検査
- 3) 飼育室への導入と群分け及びケージ付属カード記入
- 4) 実験に関する実技補助（動物の測定・試薬投与・麻酔等）
- 5) 特定動物の洗浄と薬浴業務
- 6) 動物の保定・馴化業務
- 7) 特定動物の予備飼育期間中の検疫及び状態観察業務

4. 飼育器具・器材等の保守点検業務

5. 飼育管理業務の記録整理

- 1) 動物飼育管理日誌の作成及び報告（毎日）
- 2) 飼育動物数の月別集計記録（毎日）
- 3) 倉庫の整理と導入器材・飼料等の在庫調査（適宜）

6. 実験に関する動物の繁殖及び系統の維持

7. その他の雑作業（毎日）

- 1) 実験者及び来客用上履等の管理整備・着衣その他の洗浄・滅菌・所定場所への配置等
- 2) その他実験動物飼育に関わる雑作業全般

2. SPF動物

1. 実験動物の日常飼育管理作業（毎日）

- 1) 飼育室内温度・湿度等の確認記録
- 2) 給餌・給水（自動給水槽の定期給水及びノズルの作業点検を含む。）
- 3) 飼育動物の異常のチェック
- 4) ケージ・床敷の交換
- 5) 汚物の区分け・廃棄・運搬
- 6) 給水ビン・ケージ・ケージラック等の交換・洗浄・乾燥・整理及び所定の場所への搬入
- 7) 飼育器材の滅菌（必要に応じて飼料・水・フィルターキャップ・床敷等の滅菌も行う。）・消毒
- 8) 飼育室内の清掃作業
- 9) 実験室・廊下・更衣室・便所・シャワー室・管理室・倉庫など動物飼育関連区域の清掃

2. 動物飼育関連区域の定期清掃・消毒（週1回）

- 1) 消毒薬による動物飼育室床壁の消毒
- 2) 動物の死体の施設外への搬出
- 3) フィルター交換・洗浄
- 4) 実験室・廊下・更衣室・便所・シャワー室・管理室・倉庫など動物飼育関連区域の消毒
- 5) SPF施設の落下菌テスト（4ヶ月に1回）

3. 実験動物の導入及び検収作業の補助並びに実験の補助（適宜）

- 1) 実験動物の導入受け入れの準備
- 2) 導入動物の規格確認（週齢・性別・匹数の確認と記録）・外観検査
- 3) 飼育室への導入と群分け及びケージ付属カード記入

4. 飼育器具・器材等の保守点検業務

5. 飼育管理業務の記録整理

- 1) 動物飼育管理日誌の作成及び報告（毎日）
- 2) 飼育動物数の月別集計記録（毎日）
- 3) 倉庫の整理と導入器材・飼料等の在庫調査（適宜）

6. 実験に関する動物の繁殖及び系統の維持

7. その他の雑作業（毎日）

- 1) 実験者及び来客用上履等の管理整備・着衣その他の洗浄・滅菌・所定場所への配置等
- 2) その他実験動物飼育に関わる雑作業全般